

伊豆一周ウォーキング報告書

文・写真 後藤

と き 2020. 02. 26 (水) 曇・風あり
コース 富士IC6:00-宇佐美駅7:38-宇佐美・城宿発7:46-東浦路-網代峠8:
59-別荘地-網代9:42-バス-熱海・般若院10:00-伊豆山神社10:23
-走り湯10:54-サンビーチ11:44-バス-錦ヶ浦(昼食)-バス-サンビー
チ12:56-錦ヶ浦13:15-伊豆多賀・長浜海洋公園14:28-三島
歩 数 27000
距 離 約17km
参 加 14名

朝から天気がハッキリしない。気温も低い。寝坊した方・前日免許証紛失した方などで、参加者が少ない。はじめに、網代～宇佐美間の古道「東浦路」を歩く。
網代駅から入口の看板がなくわかり難い。ただ前日、伊東市観光課の「若い衆」に連絡し、山道入口に看板を付けるよう頼んだ。係りの若い男性は「今日、付けに行きます」と約束した。実際行ってみると、確かに看板はあった。しかし、下から見えない方向だったので、ちょっと工夫が足りなかったね。



宇佐美駅



宇佐美・城宿



吉田松陰腰掛岩



法界萬霊塔

湿っぽい山道を上る。よく踏まれているので、歩き難くはない。山中に「コンコンコン」の音が響く。竹を叩くような音。お寺の水琴窟と思ったが、移動しているので、鳥だろうか。

辺りは、キリシオンみたいな感じで湿気が多い。風は案外冷たい。道々、様々な遺跡がある。吉田松陰が座った岩・U字状歩道・法界萬霊塔・馬頭観音などなど。おおむね、文化・文政のころのもので、約200年前。

上り切れば網代峠。昔、ここに大島茶屋があったそうだ。名前は、ここから大島が見えたから??!!



網代峠

網代



R135

伊豆山神社

ハッキリしない天気の下、網代峠を後にする。西行か東行かだが、迷わず東行。出るところは網代駅で同じだが、西行は、別荘道路が錯綜しルートが難しい。

ただ、東行はスッキリしている分、急激に下っている。物凄い急下降で膝がおかしくなる。また所々、苔むしているので要注意。

無事、R135に出てバスに乗り、伊豆山神社に向かう。本来、流れは伊豆山から網代峠に向かうが、峠道は2時間掛かり、途中で時間切れはまずいので先に歩いた。

般若院でトイレを済まし、神社に向かう。神社は長い階段が有名。最下段から837段といわれる。般若院からは、途中入場だからそんなにない。



伊豆山神社

境内に綺麗な鯉がいた。パンを上げたが、ガツガツしていない。熱海の鯉は上品??!! お参りを
して記念写真を撮って下山。「はしり湯」に向かう。長い階段を下る。「はしり湯」は凄い。洞窟の
奥の湯場からゴンゴンと熱湯が湧き出ている。さながら温泉地獄の様相。

入り口には、学生が休んでいた。聞けば、「春休みで来た」そうだ。「はしり湯」から、熱海～湯河
原間のR135に上り返す。なかなかキツイ。海岸線の「熱海ビーチライン」は、有料道路で歩行
は禁止。

お宮の松に向かう。親水公園は、なかなかいいところ。熱海は相当、お金を使っている様子。ヨッ
トハーバーは、今まで見たことがないような、立派なヨットが数多く並んでいた。世の中、お金持

ちは多いようだ。「大寒桜」が満開。ただ、この桜は色がやや薄いので、派手さはない。昼食時間で場所を探すが無地がない。



上品な鯉??



走り湯

結局、バスで錦ヶ浦に移動し車内でいただいた。外は景色が素晴らしいところだが、風が強く冷たかった。昼食後は、再び親水公園に戻り、午後のウォーキング。

錦ヶ浦から先は、道路と歩道が狭く危険極まりない。日本の道路事情（行政）は、歩くとよく分かる。ゆっくり静かに歩ける旧道を歩きたいが、そこに渡る横断歩道がない。オリンピック投資を少し回せば歩道なし、横断歩道なし道路は解決出来るが。

錦ヶ浦先は、歩道があり余裕をもって歩けた。錦ヶ浦は、いずれトンネルを掘るしかない。午後は14:30、多賀まで歩いた。皆さんは今日も頑張った。距離はさほど出なかったが、上り下りが多かった。でも、今日も完全燃焼。満足のウォークでした。

(了)

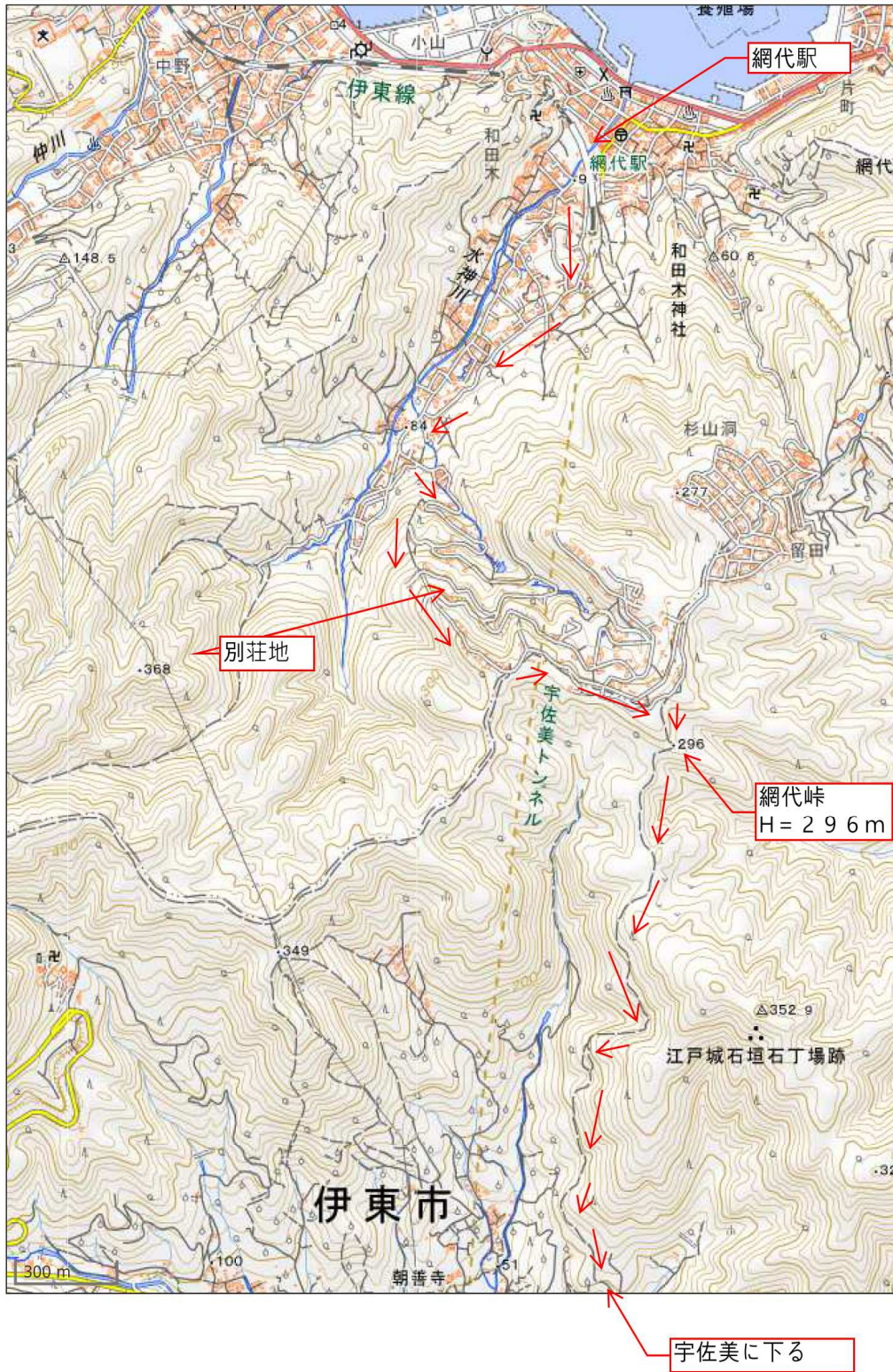


熱海・サンビーチ



地理院地図

GSI Maps



注意＝地図は、あくまで参考です。歩いた行程は南（下）からです。